

ごあいさつ

これまでのご支援に心から感謝申し上げます。

この24年間、本県の質の高い文化の集積、高い技術力を有するものづくり企業の集積、高等教育機関の集積、豊かな自然環境など、石川の個性ともいふべき財産を磨き上げて参りました。これらにより、本県の存在感を高め、付加価値を向上させることができました。まさに地方創生を先取りしてきたものと確信しています。

これからのウィズコロナ・ポストコロナの時代において、さらに本県の魅力向上や、移住定住や交流人口増加を促進する陸・海・空の交流基盤を更に進化させる必要性を実感しています。また、原油価格の高騰や人手不足など新たな課題への対応、医療・福祉・教育や防災、国土強靱化の推進。さらに北陸新幹線は、東海道新幹線の代替補完機能という役割を超えて日本海側の大動脈として、大阪までの早期全線開業も目指さなければなりません。

魅力づくりのためライフワークとして取り組んできた金沢城公園整備も二の丸御殿整備まで漕ぎ着けることができました。西部緑地公園の再整備も着実に前進させて行きます。教育は、GIGAスクール構想、インクルーシブ教育の実施等により、最適化された学びの環境を整備します。これからも多様な課題にしっかり取り組みます。コロナを契機とした時代の転換点がいよいよ正念場を迎えようとしています。

皆様方の更なるご支援をお願い申し上げます。



「米沢けんじ後援会」に
あなたの力をお貸ください。

後援会員募集中!

後援会入会申し込みは別紙を参照ください。

いただいた皆さまの個人情報、本後援会の目的以外には使用いたしません。

後援会規約抜粋

本会は、米澤賢司氏の政治活動を後援すると共に会員相互の親睦を図ることを目的とし、目的に賛同する成人者をもって会員とする。

皆さまの声を是非お聞かせください!

ご友人、あるいはご近所、職場のお仲間がお集りになれる場がありましたら、是非お誘いください。じっくりとお話しをさせて頂きたいと思っております。



24年間県政の一翼を担い、
多くの実績を積み上げた
米沢けんじさんに期待しています。

米沢けんじ連合後援会 会長 畠 善昭

米沢けんじプロフィール



● 石川県議会議員〈6期〉 ● 自由民主党金沢支部長

平成11年の初当選以来6期24年、県議会議員として活動し、道路整備や環境保全、伝統産業の振興、安全・安心の街づくりなどに務める傍ら、第99代石川県議会議員・県監査委員、更には県議会各委員会の委員長などを歴任してきました。

この24年間、金沢・石川の発展と皆様の暮らしを向上させるため、多くの提言と推進を行い、金沢の石川の豊かな未来を実現させるべく活動しています。



主な役職：自由民主党金沢支部長 / 東部環状道路建設促進協議会理事長 / 金沢市城北地区開発促進同盟会副会長 / 金沢市北部地域開発促進同盟会副会長 / 石川県板金工業組合顧問 / 金沢市遺族連合会相談役 / 英霊にこたえる会金沢支部会長 / 金沢市農業協同組合小坂地区運営委員会委員長 / 石川県脊髄損傷者協会顧問 / 石川県保育推進連盟顧問 / 社会福祉法人わかば保育園理事 / 社会福祉法人達樹会理事 / 社会福祉法人千授福祉会評議員 / 水墨画北水会顧問 / 北朝鮮拉致問題解決促進県議会連連会長 / 石川県観光物産館相談役 / 石川県薬剤師連盟推薦 / 石川県医薬品配置協議会顧問 / 一般社団法人金沢建設防災協会顧問 / 金沢市第二消防団千坂分団後援会顧問 / 職業訓練法人石川県建設協議会顧問 / 建設共同高等職業訓練校顧問 / 一般社団法人石川県運転代行協会顧問等

未来創造 米沢けんじ後援会事務所

〒920-0804 金沢市鳴和2-3-20

TEL 076-251-7772 FAX 076-251-5360

Mail ▶ yoneken@maroon.plala.or.jp kenji.yonezawa.7



未来創造
幸せの実感へ

石川県議会議員

よねざわ

米沢けんじ

後援会入会のご案内

米沢よねざわけんじの重点政策

幸せの実感できるいしかわ創造

防災・減災対策で安心できる未来を

- 豪雨対策「流域治水」
- 防災情報の充実
- 大雪・雪害への対策
- 災害に強い交通体系の確保



地域経済の再生で安心できる未来を

- ウイズコロナ・ポストコロナへの対応
- 物価高騰対策
- 営農を継続できる環境づくり
- 多様な人材を活用魅力ある雇用の場の創出



魅力が輝く安心できる未来を

- 北陸新幹線の県内全線開業効果の最大化
- 1日も早い北陸新幹線全線開業
- 文化観光の推進・観光広域連携



心豊かに安心できる未来を

- 県立野球場、産業展示館建替え
- 広域道路ネットワークの整備
- 伝統芸能・伝統工芸の継承支援
- 周産期医療体制の確保
- ヤングケアラー対策



24年の軌跡とこれから

未来創造



この24年間は、未来創造に全力で取り組みました。災害に強い街づくりのため環状道路や緊急輸送道路を整備、安心して住める環境作り、新幹線の開業に併せ金沢城復元など魅力を創りました。

これからの金沢は、高齢化率27%を超え、空き家も増えることから、防災対策が課題です。街中の緊急輸送道路沿線には、300棟以上の旧耐震基準の建築物があり、災害時の救命活動に支障をきたさないよう対策が必要です。

住み慣れた街で買い物や医療を身近に。歩ける街を創りたい。さらに安心して暮らせる未来を創り続けます。

1 金沢城復元と伝統的職人技術の活用



本物志向で復元整備を進めて参りました。これから二の丸御殿の早期復元を目指します。

2 未来志向で県立野球場を再整備



老朽化した県立野球場について、規模と設備の再整備に取り組みます。スポーツの賑わいと健康を促進します。

3 日本海側の拠点空港としての活用



コロナ前の運航を目指し、また、今後の国際化を見据えた、滑走路の再整備を目指します。

4 新幹線効果を県内全域へ波及



2024年春の県内全線開業に向け、金沢開業時の経験も活かし、文化・歴史・食の魅力を他県と連携して誘客を促進します。

5 子育て支援・障がい者支援の推進



障がいのある人もない人も共に暮らしやすい石川県づくりの為に条例制定。また結婚・子育て、高齢化対策を推進しています。

6 鳴和三日市線の拡幅



中島大橋が無事完成し、交通流も格段の向上が図られました。これからも県道清水小坂線等の整備にしっかり取り組みます。

7 陸・海・空の基盤整備の推進

物流や災害、渋滞対策のために幹線道路整備をさらに促進します。加賀と能登、空港や港を結び、アクセス改善により広域観光、産業基盤を強化します。

金沢港は日本海側でトップクラスのクルーズ船寄港数により賑わいを創出しました。

国際物流拠点としても、地理的利便性と優位性を活かしてポートセールスに取り組み産業振興を図ります。

